

製剤中のCBD含有量は20%で規格しており、CBDアイソレートと比較してCBDの吸収率も改善したことで最終剤形の可能性が広がった。セラバイオファーマ社との共同開発技術を利用した、水溶性CBD製剤、高吸収化製剤など、ニーズに合わせたフォーミュレーション製剤の提案も可能となっている。

また同社は、食品原料、食品用香料、食品素材、包材などの輸入ほか、欧米、中国などと幅広いネットワークを構築し、セラバイオファーマ社と共同開発で各種カンナビノイドの体内吸収効率を向上した高機能性原料の開発も行う。FSSC22000認証を取得した自社工場での製造販売を行うほか、植物生産技術ベンチャーと共同での大麻草の成長機序の解明・大麻成分THCの生成抑制、植物生産技術開発なども行う。なお同社が取り扱うCBDは、改正大麻取締法の新基準にも対応する。

小ロットから野菜・果実 濃縮エキスを受託製造 浜理PFST

浜理PFST(大阪市住之江区)は北海道千歳市に設置する食品加工工場において、小ロットから対応できる一般食品・健康食品の原料受託加工事業に注力する。野菜・果実のエキスの製造で培った技術や設備を活用し、健食関連原料や果物・野菜エキスなどで実績を持つ。

同社は浜理薬品工業のグループ企業。千歳工場を拠点として北海道産農産物を原料に用いた濃縮エキスやエキス末を中心に受託製造を手がけている。HAMARIが長年手がける医薬品製造の管理手法を活用し、安全・衛生を考慮した設備とHACCP管理の徹底を特長に高品質なエキス製品を供給する。また、受託製造にあたっては食品素材が持つ機能性や風味をできる限り活かした製造を

行っている。少量からの受託製造に対応できる点が同社の強みであり、試作については濃縮エキスの場合は2Lから、エキス粉末の場合は1kgから対応可能だ。少量多品種の原料が求められるケースが多いサプリメント原料にも対応しやすい。

設備の面では、原料摩砕用のマスコロイダーをはじめ、分離・濃縮に用いるコールドプレス機(油圧式しぼり機)は容量200L(圧力150kg/cm)、遠心分離機は遠心力11,500Gと2,000~5,000Gの2種を有し、併用することで細かい固形分や異物の沈殿除去が可能だ。濃縮機は遠心薄膜式の減圧濃縮機について同型の2機を設置。液温20~90℃の任意の温度で処理でき、水で最大400L/hrの蒸発能力を有する。また、エキスの濃縮は大型の遠心薄膜濃縮機では約50Lまで、小型の場合は2Lまで濃縮できる。濃縮エキスのロットサイズは通常100~500kg。プレート式殺菌機も保有し、より熱履歴の少ない加熱殺菌が行える。小スケールの設備を有するためより小ロットの製造も可能である。乾燥機のスプレードライヤーは、粉末専用のクリーンルームを設置し、50~100kg/日の処理能力を持つ。包装は濃縮エキス製品では一斗缶のほか、1kgボトル充填に対応。粉末は10kg包装を主体に小口包装も対応可能とする。

同社では機能性関与成分の抽出精製での実績を持つ。さらに同社品質管理部門では各種微生物試験や重金属、ヒ素、強熱残分試験、乾燥減量など幅広い項目で実施しており、HPLCによる定量試験など機器分析にも対応。原料の受け入れから製品出荷における安全性・信頼性にも貢献していく。ユーザーからの受託製造の相談はグループの浜理薬品栄養科学が窓口対応し、両社で最適な加工・製造を提案していく。



HAMARIの設備 スプレードライヤー Spray Dryer

北海道でエキスにしたい
パウダーにしたい
私たちはそんな希望のお力になりたい

野菜・果実の搾汁・濃縮・殺菌・スプレードライヤーによる粉末化の受託製造企業



浜理PFST株式会社

【問い合わせ】



浜理薬品栄養科学株式会社

〒541-0041 大阪市中央区北浜2丁目1-26
TEL 06-6222-1921 FAX 06-6222-6033
<https://hamari-eiyo.com/>

FOODSTYLE21

食品の機能と健康を考える科学情報誌

01

JANUARY 2025

- 332 -

特集① 分析・評価技術 のいま

新春特別企画

企業とつくる「健食かるた2025」

特集②

商品差別化に提案する
製剤技術・OEM生産技術